

2021年10月1日 発行

イオンコンパス株式会社
流通視察ドットコム

↓その他情報はサイトにアクセス!

<http://www.ryutsu-shisatsu.com/>

■ 英国百貨店業界の凋落 (8/30)

2016年の大手百貨店BHS (British Home Stores) の経営破綻以降、5年間で英国内の大手百貨店チェーンの実に83%の店舗が消滅したということです。

BHS破綻直前で英国内に467店舗存在していた大手百貨店チェーン (BHS、デベナムス、ハウス・オブ・フレイザー、ジョン・ルイス) のうち388店舗が閉鎖となり、そのうち237店舗は未だに空きスペースのままとなっています。空室状態の237店舗のうち、わずか52店舗のみ他業態店舗への転換計画があるとのこと、英国における百貨店業界の凋落ぶりがうかがえます。

■ 成長を続けるアメリカのフードデリバリー (9/3)

昨年の売上高が前年比で2倍以上となったアメリカにおけるフードデリバリー市場は、2021年の売上も33.3%増加し570億ドルを超え、2024年末までに800億ドルの市場になると調査会社大手のInsider Intelligence社がレポートしています。

その中でもDoorDash社とUberEats社が大きくシェアを獲得しており、マーケットリーダーのDoorDash社のシェアは2021年に49.6%で、2023年中に50.3%となると予測されています。

UberEats社は昨年のPostmates社買収により、2021年のシェアが前年比58.6%伸びる見込みです。市場シェアは33.6%で、こちらも2023年中に35.3%まで伸びると予測されています。

■ パブリクスがケンタッキー州に2023年進出予定 (9/8)

フロリダ州を拠点に、ジョージア州、アラバマ州、テネシー州、サウス・カロライナ州、ノース・カロライナ州およびバージニア州で約1,280店舗を展開しているパブリクスが、2023年の第4四半期中に新たにケンタッキー州への進出をすることが分かりました。

パブリクスは高品質な食品の提供と買い物客の荷物をスタッフが出口まで運ぶなどの好感度の高い顧客サービスで、ウェグマンズと常に人気を二分しているリージョンナルSMチェーンです。

進出予定地はレイビル (Louisville) で、レイビルの位置するレイビル・メトロポリタンエリア (MSA) は約170万世帯を持つ最大の都市圏で、同エリアで最大の市場シェア34%を持つウォルマートおよび2番目のシェア32.6%のクローガーにとって大きな脅威になるということで今から注目を集めています。

■ カルフルがサブスク・サービスを開始 (9/13)

フランスのスーパーマーケットチェーン大手のカルフル (Carrefour) が、今月末からルーアンの21店舗を皮切りに、月額5.99ユーロのサブスクリプションサービスを開始すると発表しました。

このサービスに加入することで、同社の展開する約7,000種類のプライベートブランド商品が全て15%割引になるということです。2022年中にフランス国内全店舗への展開を予定しています。

フランスでは2年前にカジノ (Casino) が月額10ユーロのサブスクリプションサービスを始めており、こちらは加入することでカジノ店内全品10%割引となります。

■ 回復傾向のアメリカ小売店舗出店数 (9/28)

アメリカ小売業界のシンクタンク大手、コアサイト・リサーチ (Coresight Research) 社の9月21日付最新レポートによると、2021年にアメリカの小売企業が現在までに新規オープンした店舗数は4,969店舗で、昨年同時期に比べて58.3%増えているということです。

一方でこれまでに閉店した店舗数は4,889店舗で、昨年同期比で37.9%減少しています。ちなみに昨年1年間の新規オープンは僅か3,304店舗で、閉店数は8,741店舗でした。ワクチン接種者数の数が伸び悩んではいるものの、ワクチン自体が無かった昨年と比べて明らかに回復傾向が見られます。

新規オープンを牽引しているのはダラーストアで、特に最大手のダラー・ゼネラルは今年1年で1,050店舗オープン予定です。昨年から投入した新たなフォーマットのポップシェルフ (Popshelf) も全米各地に展開していく予定で、最終的には3,000店舗を目指しています。

このポップシェルフは、従来の店舗よりも取り扱いアイテムを広げ、シーズナリー商品、インテリア雑貨、ヘルス&ビューティ商品やパーティグッズ等を販売します。ターゲットとなる消費者は年収5万ドル~12.5万ドルの比較的高い購買層となるということです。